



St. Luke's International University Chapel

聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 TEL 03-5550-2416 (事務室)

E-mail : chapel@luke.ac.jp URL <http://nssk.org/tokyo/church/luke>

マルコ福音書 10:46-52(聖霊降臨後第 23 主日、2024/10/27)

「傾聴」

チャプレン ヨナ 成成鍾司祭

アメリカの経済社会理論家として世界の経済・労働・環境・社会などの変動について多方面から研究しているジェレミー・リフキン (Jeremy Rifkin) は著書『共感の文明 (The Empathic Civilization)』の中で、人類の進化と文明の発達に最も重要な原動力になるのは人間の共感する能力であるという研究結果を出しました。「賢い人間」としてのホモ・サピエンス (Homo sapiens) は、「共感的人間」としてホモ・エンパシクス (Homo empathicus) でもあったので、進化を成し遂げることができたと言うのです。重ねて、共感的人間になることはこれからの人類のためにも大事な部分ですが、そのために何より求められることは聞く行為であると言っています。彼は人間の聞く行為を 5 段階に分けて提示しました。低いレベルから分類すると、「無視する段階」「聞くふりをする段階」「選択的に聞く段階」「注意深く聞く段階」そして「共感する段階」です。5 段階の中で、最後の共感が人々に最も求められるレベルなのですが、それは相手の話に自分の感情を移入して聞く、いわゆる傾聴する段階のことを指します。傾聴とは、会話の表面的な内容だけではなく、表情や姿勢などの身体的な言葉にも注意を払いながら、それに込められた相手の考え、意図、求め、感情などに心を傾けて、それらを正しく理解しようとする積極的な行いなのです。

ではいかがでしょうか。5 段階の中、最も多くの人々が止まっているレベルは何だと思ひ、また今自分はどのレベルに達しているか自己評価できるのででしょうか。ジェレミー・リフキンによりますと、多くの人々は「選択的に聞く段階」、つまり自分が聞きたいことだけを聞くレベルに止まっているそうです。それは、相手が何かを熱心に語っているとしても、自分の考えや求めに合うことだけを拾って、他の部分には関心を置かないということです。私も相手の話を聞きながらも時々自分の思いに溺れてしまい“すみません。聞き逃してしまいましたが、さっき何とおっしゃいましたか。”と聞き直すことがあるのですが、皆さんはいかがでしょう。

さて今日の福音書は、目の見えない物乞いバルティマイがキリストから癒されて、失ってしまった視力が回復されたことについて伝えています。彼の癒しは、キリストから「あなたの信仰があなたを救った。」(52 節)と言われたことから分かるように、彼自身の積極的な求めによって与えられたものと言えます。ここで注目したいことは、その癒しの過程において何より貢献したのは、彼の耳の働き、つまり聞く姿勢だったということです。人は、仮に一つの感覚を失ってしまいますと他の感覚がより敏感になって失った部分を補うようになります。例えば目が見えなくなりますと耳の聞き取る能力が増すようになるのです。道端で物乞いをしていた盲人バルティマイも鋭くなった聞き取る能力を活かして、キリストが近づいて来ることを先にキャッチし、目の見える人たちより速くかつ積極的に癒しを求めて、その結果、目が開かれる恵みをいただくようになったのです。

バルティマイから学べますようにキリストからの恵み、例えば癒し、慰め、回復などは聞くことから始まります。耳を傾けて聞くことを通してみ言葉をいただくことが恵みの始まりになるのです。古代ギリシアの哲学者、エピクテトス (Epictetus, 50?-135?) が“神が人間に一つの舌と二つの耳を賦与したのは、しゃべることよりも二倍多く聞くためなり。”という格言を残したように、人間である私たちには先ず聞くことに注意を払うことが求められます。いくら小さなことだとしても耳を傾けて聞くようにしますと、神様の心をいただくようになります。救いは聞くことから訪れてくるので、聞くこと、傾聴することこそ奇跡なのです。

(※聖書は裏面に記載されています)

<福音書> マルコによる福音書 10章 46～52節

46 一行はエリコに来た。イエスが弟子たちや大勢の群衆と一緒に、エリコを出られると、テ
イマイの子で、バルティマイという盲人が道端に座って物乞いをしていた。47 ナザレのイエスだ
と聞くと、「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください」と叫び始めた。48 多くの人々が叱
りつけて黙らせようとしたが、彼はますます、「ダビデの子よ、私を憐れんでください」と叫び
続けた。49 イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。人々は盲人を呼ん
で言った。「安心しなさい。立ちなさい。お呼びだ。」50 盲人は上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイ
エスのところに来た。51 イエスは、「何をしてほしいのか」と言われた。盲人は、「先生、また見
えるようになることです」と言った。52 イエスは言われた。「行きなさい。あなたの信仰があなた
を救った。」盲人はすぐ見えるようになり、なお道を進まれるイエスに従った。